

housewifeとhomemaker
—新聞・雑誌での扱いを検討する—¹

畠山利一*

**‘Housewife’ and ‘Homemaker’
In Newspapers and Magazines**

Toshikazu Hatakeyama*

Abstract

Some books on politically correct phrases recommend that you use ‘homemaker’ instead of ‘housewife.’ Do people follow the guidance? It is the main concern of this paper. Some newspapers and magazines stored in LexisNexis database are examined to see how much the two terms are used. This paper reveals the situation ‘housewife’ and ‘homemaker’ are actually used in the media.

Back in the 1970s and 1980s ‘housewife’ was a common word but ‘homemaker’ was a rather rare word. There is a tendency now in the US media to use more ‘homemaker’ than ‘housewife’ probably because they are influenced by the movement to get rid of sexist language. How much ‘homemaker’ is used, however, is different from media to media.

In the media in the UK, ‘housewife’ appears far more often than ‘homemaker.’ It seems that they do not try to use the word ‘homemaker’ in place of ‘housewife.’

キーワード

housewife、homemaker、PC表現、Newspaper English、コーパス

1. はじめに

PC (politically correct, political correctness) 表現の観点からhousewifeという語は使用を避けるべきだと言われ、いくつかの文献でそれに代わる表現が示されている。Dumond (1990 : 80) およびMiller, Casey and Kate Swift (1995: 155) では housewife に代わる語としてhomemakerをあげている。Rees (1993 : 71) ではhomemakerを次のように説明している。

*はたけやま としかず：大阪国際大学経営情報学部教授 〈2007.6.15受理〉

homemaker: An old word (around since the 1870s at least) which since the late 1970s has been the politically correct term for a **housewife**.

American Psychological Association (2001 : 72–73)では“Participants were 16 men and 4 women. The women were housewives.”という表現は問題がある (problematic) として、下に引用するようにhomemakerの使用を推奨している。その理由は、housewifeは既婚の女性にしか用いることができないが、homemakerは女性にも男性にも用いることができるからだと述べている。

Do not use *housewife* to identify occupation, a term that indicates sex and marital status and excludes men. Use *homemaker*, which can denote a man.

*Newbury House*には次の定義と用法注記がある。

homemaker *n.* a person who takes care of his or her family's house and children.

Usage Note: The term *homemaker* describes anyone who creates and cares for a home. It is a more contemporary term than *housewife* or *househusband*.

ここでもhomemakerが用いられる理由は男女どちらも指し示すからとされている。

このようにhousewifeを避けてhomemakerを使うことが勧められているが、実際の使用状況はどうだろうというのが本稿の主題である。一般の人々の間ではPC表現に特に配慮をせず、従来通りの語を使うという人は多いであろう。しかし主要な新聞や雑誌ではそうゆうわけにはいかないであろう。PC表現に関心が払われていないときはhousewifeが多く使われていたが、PC表現に関心が向けられるにつれてhousewifeの使用が減少し、それ呼応してhomemakerの使用が増えてゆき、上記のような文献が多く刊行された1990年代後半以降はhousewifeの使用は少なくなり、homemakerが主に使われるようになってきていると考えてよいのだろうか。新聞・雑誌のデータベースをコーパスとして使い、使用状況を検証したい。

2. コーパスと調査の方法

コーパスとしてLexisNexisを用いる。LexisNexisは世界各国の主要な新聞・雑誌を多数収録しているデータベースである。²この中から比較的長期間にわたって利用できる*The Washington Post*、*The New York Times*、*USA Today*、*Newsweek*、*The Christian Science Monitor* (以上アメリカ)、*The Guardian*、*The Independent*、*The Economist* (以上イギリス)、*The Daily Yomiuri* (日本) (以下新聞・雑誌名のtheを省略する)³を検索して、housewifeとhomemakerの使用頻度の経年変化を調べる。housewifeとhomemakerの使用は新聞・雑誌によって大きく異なることが明らかになる。タイプ別に分類して説明する。

3. 各紙の分類

3.1. Type 1: housewifeが多かったが、年を経るにつれてhomemakerが多くなる：

Washington Post

Washington Post は1977年1月1日（以下年は77年のように略す）から現在までの記事をLexisNexisで検索することができる。表1は77年1月1日から06年12月31日の全記事の中でhousewifeとhomemakerが使用された記事数と割合である。一つの記事の中で2回以上使用されていても1として計上している。77年を例に取ると、housewifeが使われた記事が191あり、homemakerが使われた記事が64ある。合計すると255になる。合計の中でhousewifeとhomemakerの割合はそれぞれ75%、25%となる。⁴

ここでhomemaker以外にhousewifeのPC表現として用いられる語句について見ておく。homemaker以外の語句が用いられているならば、それを含めて考察しなければ意味がない。表1にhousehusbandの記事数もあげているのは、housewifeとhomemakerに関連して、使用数に変化が生じるか調べるためである。全期間を通じてhousehusbandの使用数は少なく、顕著な増減は見られない。housewifeとhomemakerの使用と関連はないようである。

Dumond (1990) はhousewifeに代わる語として homemakerの他にhouseholderをあげている。householderの使用についても*Washington Post*を検索した。上と同期間に545の記事がある。そのうちのおよそ100例を無作為に選んで記事を読んでみたが、下の引用の通り、「家の所有者」「家の借り主」「世帯主」の意味で使われるか、地名・人名として使われており、housewifeの意味で使われている例はなかった。⁵

Sheriff's officials recommend that **householders** make sure their outdoor holiday decorations don't activate motion detectors during windy weather. They also suggest that **householders** familiarize houseguests with their alarm systems and ... (太字筆者；December 17, 06)

このことよりhouseholderがhousewifeの代わりに使われる例はあるとしても、極めて少ないと思われる。Rees (1993: 71) は、次の引用で示すように、householderの使用は顕著ではないと述べている。今もその状況は同じであると思われる。

Householder is another acceptable term but it is not clear whether it has caught on to any noticeable extent.

また、『ジーニアス4』はhome managerがhousewifeに代わって使われると記述しているので、この表現についても*Washington Post*の同じ時期の記事を検索した。home managerを使った記事は7例あり、このうちhousewifeの意味で使われているものは次に引用する例を含めて2例にすぎない。homemaker がhousewifeの意味で用いられた記事が、表1に示すとおり、4001例あるのと比較すると、home managerがhousewifeのPC表現と使われ

ることは極めて少ない。

Due to an illness, my wife has been out of action, and I have found myself in the role of **home manager**. (太字筆者；*Washington Post*, August 24, 2000)

厳密にはこのような語もhousewifeのPC表現として考察しなければならない。またその他にもhousewifeの代替表現があるかも知れない。しかし、数は少ないと思われるので除外して、本稿ではhousewifeとhomemakerだけで割合を出すことにした。したがって以下に示されるのはおよその傾向である。

なおhousehusband、householder、home managerの使用については、*Washington Post*の他に下で取りあげる新聞・雑誌についても同様のことが言えるので、housewifeとhomemakerの使用のみを取りあげる。

表1. *Washington Post*に表れるhousewifeとhomemaker

	housewifeの記事数	homemakerの記事数	合計	housewifeの割合(%)	homemakerの割合(%)	househusbandの記事数
77年	191	64	255	75	25	1
78年	164	53	217	76	24	0
79年	178	70	248	72	28	1
80年	235	106	341	69	31	3
81年	183	63	246	74	26	4
82年	198	81	279	71	29	3
83年	162	74	236	69	31	5
84年	175	73	248	71	29	4
85年	176	67	243	72	28	7
86年	177	64	241	73	27	2
87年	150	86	236	64	36	3
88年	150	107	257	58	42	4
89年	130	77	207	63	37	1
90年	120	82	202	59	41	3
91年	127	89	216	59	41	0
92年	110	126	236	47	53	1
93年	115	87	202	57	43	8
94年	130	120	250	52	48	4
95年	126	120	246	51	49	1
96年	111	148	259	43	57	2
97年	115	118	233	49	51	2
98年	129	231	360	36	64	3
99年	135	233	368	37	63	0
00年	108	207	315	34	66	1
01年	132	190	322	41	59	1
02年	143	189	332	43	57	1
03年	135	199	334	40	60	0
04年	148	252	400	37	63	2
05年	145	271	416	35	65	5
06年	109	354	463	24	76	1
合計	4407	4001	8408	52	48	100

housewifeとhomemaker

図1は表1の記事数をグラフにしたものである。housewifeを用いる記事数は徐々に減り、homemakerを用いる記事数が徐々に増えていることがよく分かる。

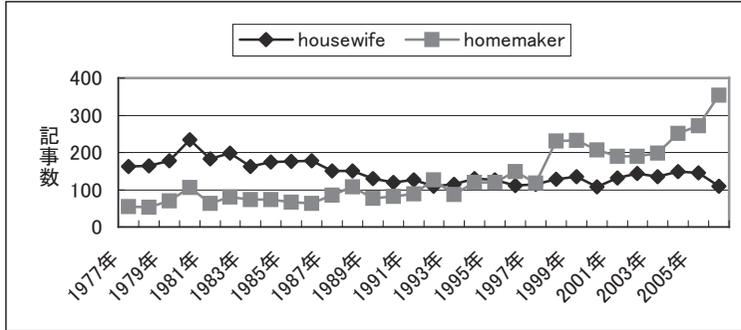


図1. Washington Postに表れるhousewifeとhomemakerの記事数

図2はhousewifeとhomemakerの使用割合をグラフにしたものである。77年から86年まではhousewifeの使用が断然多く、housewifeが70-75%でhomemakerは25-30%である。ところが87年に使用割合に変化が起きる。housewifeの使用が減りはじめ、homemakerの使用が増える。その後はhousewifeの使用割合が徐々に減り、92年には逆転して、housewife 53%、homemaker 47%となる。この年から95年までの4年間はほぼ半分半分の使用割合である。96年からはhomemakerの使用割合がさらに増え始め、その後は着実にhomemakerの使用が増え06年にはhousewife 24%、homemaker 76%になる。housewifeを避けhomemakerを使おうとする動向が明瞭に表れている。

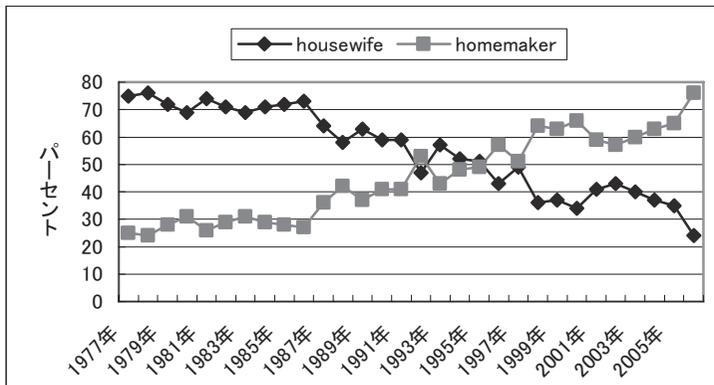


図2. Washington Postに表れるhousewifeとhomemakerの割合

図3は図2と同じものを積み上げ面グラフで表したものである。housewifeとhomemakerの使用の合計を100%として年ごとの使用の割合を示している。年を経るごとにhousewifeの使用が減り、それに対応してhomemakerの使用が増えてゆくようすが如実に表れている。

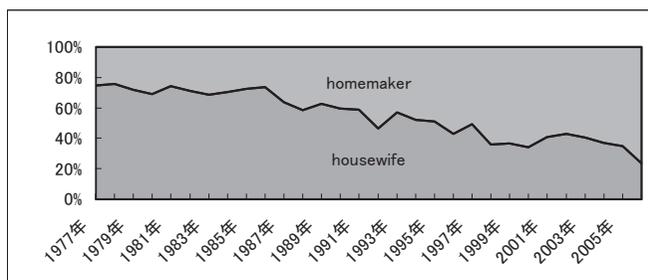


図3. *Washington Post*に表れるhousewifeとhomemakerの割合：積み上げ面グラフ

記事を読むと、明らかにhousewifeを避けてhomemakerを使おうとしているものが多い。例えば2000年7月9日の‘Southern Maryland Extra’という記事にはhomemakerが4回出てくるがhousewifeは一度も出てこない。しかしそのような記事ばかりではない。housewifeとhomemakerとが同じ記事の中に出てきて、区別なく使われているものも少なくない。06年2月5日の‘Voice of Feminism’s Second Wave’という記事にはhomemakerが1回、housewifeが2回表れる。
下に該当部分を引用する。

… the Jewish daughter of an immigrant jeweler and a mother who quit her job as an editor of the local newspaper's women's pages to become a **homemaker**.

… when she … discovered that the highly educated and talented **housewives** in their mid-30s were dissatisfied …

… said that although Friedan presented herself at the time as a **housewife** who had an “aha!” moment, … (太字筆者)

この記事ではhousewifeはPCの観点から問題があるので使用しないでおこうという考えはないようである。housewifeを繰り返し使うよりはhomemakerも使う方が表現に多様性が出ると見なしているように思われる。homemakerという語は上記の文献の意図をこえて表現に変化を与える役割をしているようだ。

さらに注目すべきことは、housewifeの使用がゼロまたはゼロ近くにまで減少してはいないことである。housewifeの使用割合が最も少ない06年でもhomemakerが76%に対してhousewifeは24%である。数では354の記事でhomemakerが用いられているのに対して109の記事にhousewifeが用いられている。housewifeは今もよく用いられていると言わざるを得ない。77年はhomemakerが25%に対してhousewifeが75%であったから、06年はその割合が逆転をしている。その意味ではhousewifeとhomemakerの使い方は大きく変わった。しかしhousewifeはまだまだ使われている。

3.2. Type 2 : homemakerの使用が増えてゆくが、まだhousewifeの使用が多い : *New York Times*

*Washington Post*の場合と同様に*New York Times*に表れるhousewifeとhomemakerを調査した。69年1月1日から06年12月31日までの記事を検索したが、69年1月1日から80年5月31日まではabstractsのみしか検索できないのでこの期間の記事数は少ない。80年6月1日以降はfull textの検索をした数字である。検索結果のうち、スペースを節約するために、69年から8年ごとの77年、85年、93年、01年および最新の06年の数字のみを表2として掲げる。全期間にわたって、年ごとの記事数をグラフにしたのが図4であり、同じく全期間の年ごとのhousewifeとhomemakerの割合をグラフにしたのが図5である。図4と図5では表2の場合とは異なって省略はしていない。

表2. *New York Times*に表れるhousewifeとhomemaker

	housewifeの記事数	homemakerの記事数	合計	housewifeの割合(%)	homemakerの割合(%)
69年	25	3	28	89	11
77年	24	19	43	56	44
85年	181	83	264	69	31
93年	162	79	241	67	33
01年	188	152	340	55	45
06年	185	150	335	55	45

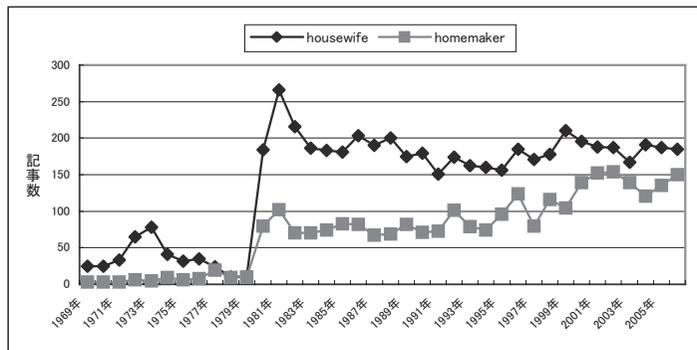


図4. *New York Times*に表れるhousewifeとhomemakerの記事数

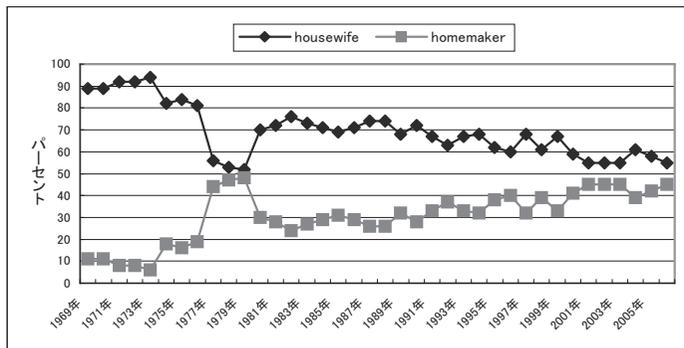


図5. *New York Times*に表れるhousewifeとhomemakerの割合

図5から、年を経るごとにhousewifeの使用が着実に減ってゆき、homemakerの使用が増えているのが分かる。69年ではhousewife 89%、homemaker 11%であったが、徐々に減ってゆき、01年にはhousewife 55%、homemaker 45%になった。しかしその後はそのまま、housewifeの方がhomemakerよりも使用が多い。77—79年の3年間はhomemakerの使用の割合が急激に増えているが、これには理由がある。77年に“Displaced Homemakers Act”という法が提案されている。離婚・夫の死などにより収入がなくなった女性が、職に就けるように援助する法律である。この法律に関する記事が新聞に出ているためにhomemakerの使用が増えている。サンプル数が少ないために少し増えるとその割合が大きくなってしまうのである。

Washington Postの場合との大きな違いは、New York Timesではhomemakerがhousewifeを上回る年が一度もないことである。調査期間の中で最新にあたる06年でもhousewifeの方がhomemakerよりも多く使われている。housewifeの使用を避けhomemakerを使おうという意図はそれほど大きくないと思われる。

3.3. Type 3 : homemakerの使用が多かったが、housewifeの使用が多くなる : USA

Today

89年1月1日から06年12月31日までの記事の検索が可能であり、この期間について調べた。検索結果のうち、89年から5年ごとの94年、99年、04年および最新の06年の数字を表にしたのが表3である。全期間の記事数をグラフにしたのが図6であり、全期間のhousewifeとhomemakerの割合をグラフにしたのが図7である。

表3. USA Todayに表れるhousewifeとhomemaker

	housewifeの記事数	homemakerの記事数	合計	housewifeの割合(%)	homemakerの割合(%)
89年	36	105	141	26	74
94年	27	57	84	32	68
99年	36	36	72	50	50
04年	37	49	86	43	57
06年	38	37	75	51	49

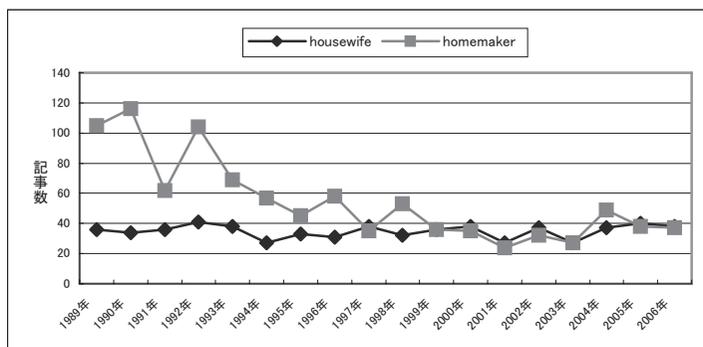


図6. USA Todayに表れるhousewifeとhomemakerの記事数

housewifeとhomemaker

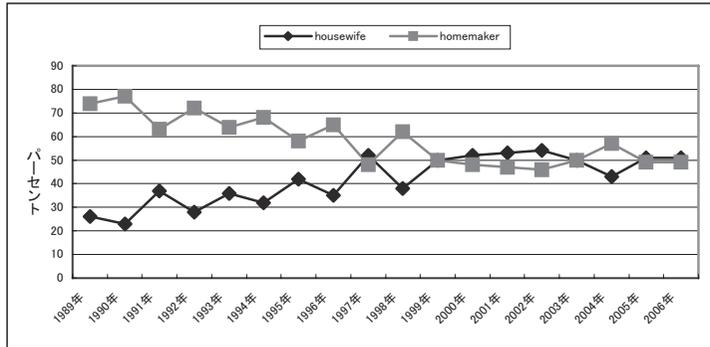


図7. USA Todayに表れるhousewifeとhomemakerの割合

図6を見るとhousewifeを使用した記事の数は全期間を通してほぼ同じであるが、homemakerを使用した記事数は年を経過するごとに減少してゆき、97年に両者の数がほぼ同じになる。その後は06年まで大きな変化はない。

図7では89年はhomemakerが74%であるのに対し、housewifeは26%である。この年はhousewifeを意図的に避けようとしていると思われる。しかしその後はhomemakerの使用割合が減ってゆき、housewifeの使用割合が増えている。97年に両者の使用割合はhousewifeが52%、homemakerが48%となり逆転する。その後は年により多少の増減があるが06年までhousewifeとhomemakerがそれぞれほぼ50%である。

Washington Post、New York Timesとは反対に、homemakerの使用割合が減り、housewifeの使用割合が増えてゆくタイプである。3紙の89年におけるhousewifeとhomemakerの使用割合を表4で表わした。図8は89年における3紙のhomemaker使用割合をグラフにしたものである。USA Todayのhomemakerの使用割合が他の2紙よりもはるかに高い。この時はhousewifeのPC表現のhomemakerを使おうとする意図が強かったと思われる。ところがその意図がだんだん薄れてゆくかのようにhomemakerの使用割合が減少してゆく。PCの観点に逆行しているように思える。

表4. 89年におけるWashington Post、New York Times、USA Todayに表れるhousewifeとhomemaker

	housewife の割合 (%)	homemaker の割合 (%)
Washington Post	63	37
New York Times	68	32
USA Today	26	74

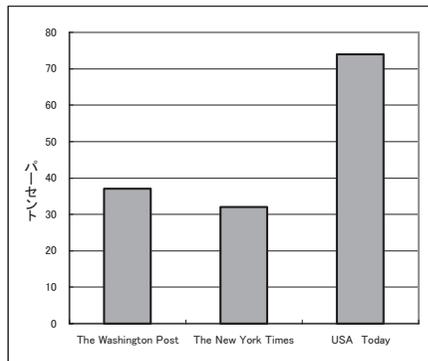


図8. 89年におけるWashington Post、New York Times、USA Todayのhomemaker使用割合

3.4. Type 4 : housewifeが多くhomemakerは少ない

3.4.1. Guardian

85年1月1日から06年12月31日までを調査した。表5は85年から6年ごとに91年、97年、04年と最新の06年の検索結果である。図9は85年から06年のhousewifeとhomemakerの記事数をグラフにしたものである。図10では上記期間におけるhousewifeとhomemakerの割合を示した。

表5. Guardianに表れるhousewifeとhomemaker

	housewifeの記事数	homemakerの記事数	合計	housewifeの割合(%)	homemakerの割合(%)
85年	94	1	95	99	1
91年	126	5	131	96	4
97年	163	8	171	95	5
04年	140	23	163	86	14
06年	197	13	210	94	6

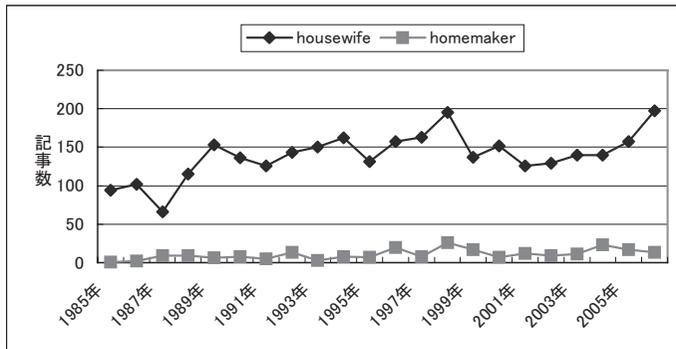


図9. Guardianに表れるhousewifeとhomemakerの記事数

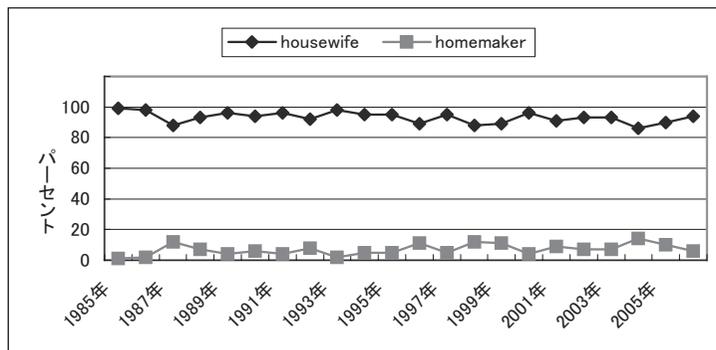


図10. Guardianに表れるhousewifeとhomemakerの割合

85年から06年に至るまでおよそhousewife 90%、homemaker 10%の割合で、ほとんど変化は見られない。housewifeを避けてhomemakerを使おうという意図はないようだ。Guardianはイギリスの新聞である。イギリスではアメリカと異なりhomemakerを使うことは少ないようである。Rees (1993) のダストジャケットに“British-based”とあり、イ

ギリスでもhomemakerを使うことが推奨されているが、現実にはあまり使われていない。

イギリスの辞書ではhomemakerを（（主に米））と表示することによってこのことを記述している。OALD7はespecially NAmE (North American English)、LDOCE4はespecially American English、CALD2はmainly US、COD11はchiefly N Amer. (North America) とそれぞれラベルを付けている。

3.4.2. Independent

イギリスの新聞Independentおよび経済雑誌EconomistもGuardianと同じ傾向が見られる。ここではIndependentについての調査結果を示す。89年から06年の記事を検索した。housewifeとhomemakerの記事数と割合のグラフをあげる。

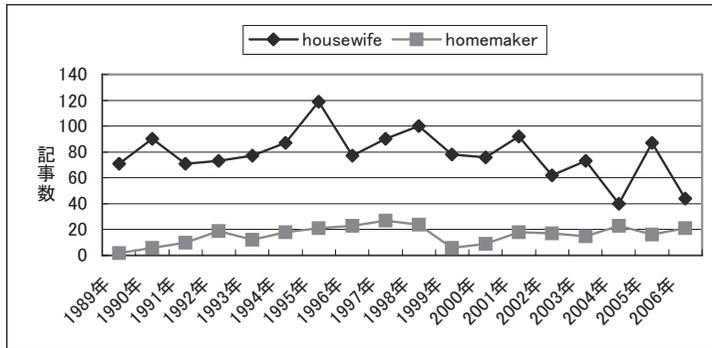


図11. Independentに表れるhousewifeとhomemakerの記事数

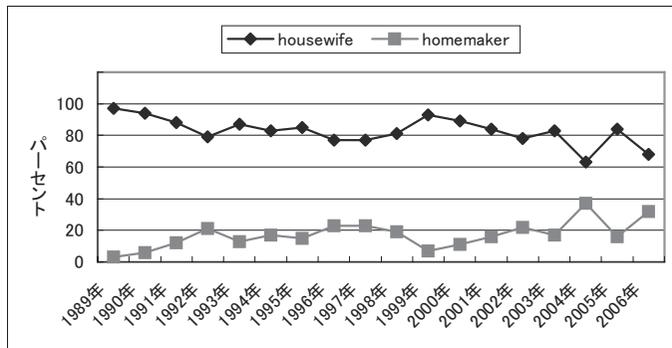


図12. Independentに表れるhousewifeとhomemakerの割合

全期間を通してあまり変化はない。図12を見ると、89年と90年はhomemakerの使用割合が10%未満であるが、それ以降は10-20%になる年が多い。04年と06年はそれぞれ37%、32%となって、30%を超えている。多少はhomemakerを使おうとしているようにも思える。しかし、明確にhousewifeを避けてhomemakerを使おうとはしていないようだ。

3.4.3. Newsweek

意外なことにアメリカの雑誌*Newsweek*およびアメリカの新聞*Christian Science Monitor*もこのタイプに入る。以下にその調査結果をあげる。*Newsweek*は75年から06年の記事を検索した。*Washington Post*など新聞と比較すると記事数が少ないので、76年から05年の間を5年分ごとに合計して表6、図13、図14に表示した。

表6. *Newsweek*に表れるhousewifeとhomemaker

	housewifeの記事数	homemakerの記事数	合計	housewifeの割合(%)	homemakerの割合(%)
76-80年	223	17	240	93	7
81-85年	116	22	138	84	16
86-90年	96	22	118	81	19
91-95年	64	33	97	66	34
96-00年	121	34	155	78	22
01-05年	122	29	151	81	19
合計	799	158	957	83	17

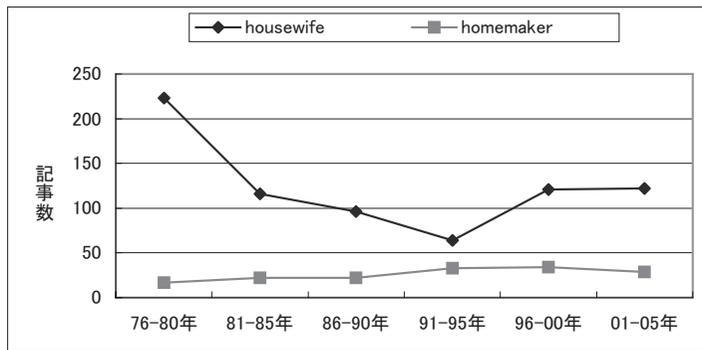


図13. *Newsweek*に表れるhousewifeとhomemakerの記事数

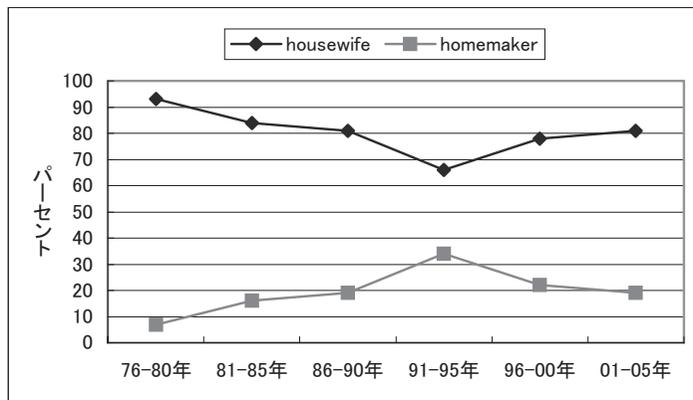


図14. *Newsweek*に表れるhousewifeとhomemakerの割合

図14を見ると、76-80年はhousewifeの使用が圧倒的に多く、housewifeが93%、homemakerは7%である。すこしずつhomemakerの使用が増えてゆき、91-95年は

housewifeが66%、homemakerは34%になる。このときには、多少はhousewifeを避けhomemakerを使おうという意図が働いているかも知れない。しかし、この後は反対にhousewifeの使用が増え、01-05年はhousewifeが81%、homemakerは19%となっている。全体的に見てhousewifeを避けhomemakerを使おうという意図はないようである。

3.4.4. Christian Science Monitor

Christian Science Monitorは80年から06年が検索可能で、その期間を調べた。

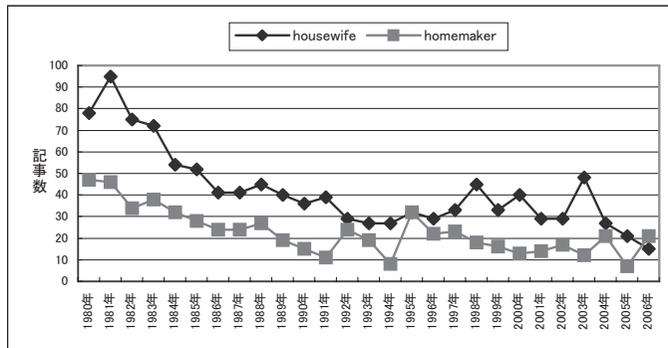


図15. Christian Science Monitorに表れるhousewifeとhomemakerの記事数

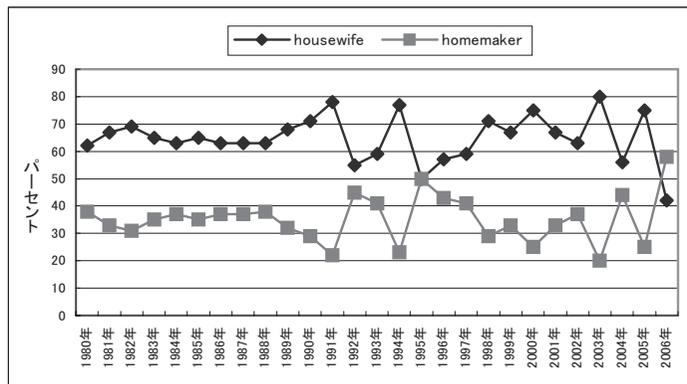


図16. Christian Science Monitorに表れるhousewifeとhomemakerの割合

図16では、はじめはhousewifeの使用が多いが、92-97年はhomemakerの使用割合が高くなる。この間は、94年は23%で使用割合が低いだが、他の年は40%以上であり、95年は丁度50%である。homemakerを使おうとする傾向が表れていると思われる。しかしその後98-03年は逆戻りしてhomemakerの使用割合は20-30%台になる。ところが06年はhomemakerの使用が急激に増えて58%となる。housewifeとhomemakerの使用について明確な基準は定まっていないようである。全体としてはhousewifeを避けてhomemakerを使おうとする意図はないようである。

3.5. 一旦はhomemakerが増えるが、元に戻ってhousewifeが多い：Daily Yomiuri

Daily Yomiuriは89年9月1日から06年12月31日までを調査した。その中で変化の節目となる年の90年、97年、99年、02年および06年の記事数と割合を表7に掲載した。記事数については90年1月1日から06年12月31日の記事を図17に表わし、記事の割合については89年9月1日から06年12月31日の記事を図18として下にあげる。

表7. Daily Yomiuriに表れるhousewifeとhomemaker

	housewifeの記事数	homemakerの記事数	合計	housewifeの割合(%)	homemakerの割合(%)
90年	59	2	61	97	3
97年	103	14	117	88	12
99年	107	41	148	72	28
02年	37	100	137	27	73
06年	60	27	87	69	31

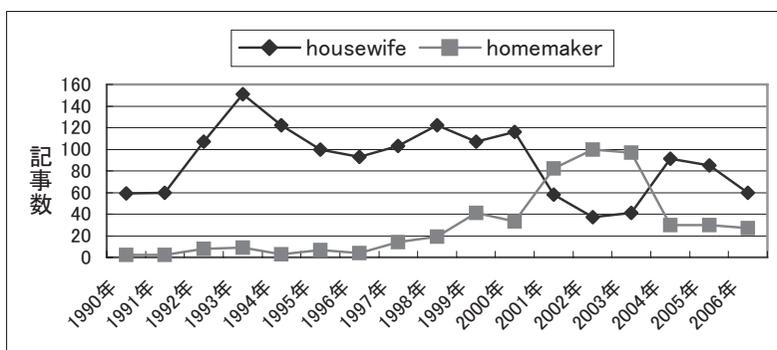


図17. Daily Yomiuriに表れるhousewifeとhomemakerの記事数

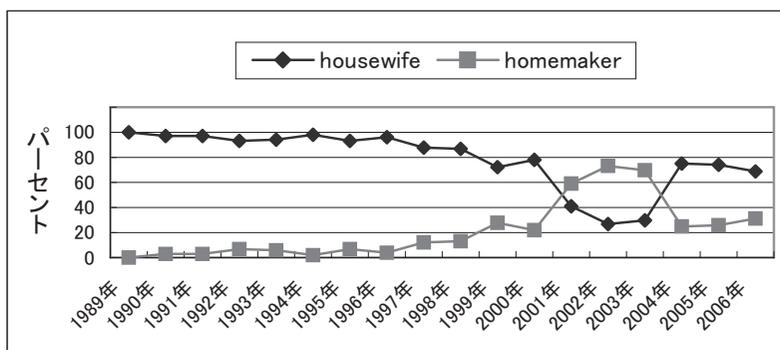


図18. Daily Yomiuriに表れるhousewifeとhomemakerの割合

図18で明らかなように、89-96年はhomemakerの使用は少なく、10%未満である。97年からhomemakerの使用割合が増え始める。97、98年は10%台、99、00年は20%台と増えてゆき、01年には50%を越える。02、03年には70%台になる。ところが、不思議なことに、04、05年には20%台に逆戻りし、06年は31%である。一旦はPC表現への配慮から、homemakerが優勢になったが、その配慮をやめてしまったのであろうか。04年以降は

homemakerよりもhousewifeの方が使用割合が多い。

4. おわりに

表8は調査した新聞・雑誌に表れるhomemakerの使用割合を一覧表にしたものである。表中の数字0はhomemakerの使用割合が10%未満、1は10-19%、2は20-29%というふうに表わし、最も数字が大きい7は70-79%であることを表示する。50%を越える年には網掛け（灰色表示）をした。数字が入っていないところはLexisNexisには資料がないため調査していない年である。

表8. 各紙のhomemakerの割合

	国\年	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86
<i>Washington Post</i>	US									2	2	2	3	2	2	3	2	2	2
<i>New York Times</i>	US	1	1	0	0	0	1	1	1	4	4	4	3	2	2	2	2	3	2
<i>USA Today</i>	US																		
<i>Newsweek</i>	US							0	0	1	0	0	1	1	2	1	1	0	2
<i>Christian S. M.</i>	US												3	3	3	3	3	3	3
<i>Guardian</i>	UK																	0	0
<i>Independent</i>	UK																		
<i>Economist</i>	UK							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<i>Daily Yomiuri</i>	JPN																		

	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06
<i>Washington Post</i>	3	4	3	4	4	5	4	4	4	5	5	6	6	6	5	5	6	6	6	7
<i>New York Times</i>	2	2	3	2	3	3	3	3	3	4	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4
<i>USA Today</i>			7	7	6	7	6	6	5	6	4	6	5	4	4	4	5	5	4	4
<i>Newsweek</i>	1	1	1	1	3	5	3	2	2	2	3	2	1	1	0	2	2	2	3	2
<i>Christian S. M.</i>	3	3	3	2	2	4	4	2	5	4	4	2	3	2	3	3	2	4	2	5
<i>Guardian</i>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
<i>Independent</i>			0	0	1	2	1	1	1	2	2	1	0	1	1	2	1	3	1	3
<i>Economist</i>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
<i>Daily Yomiuri</i>			0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	5	7	7	2	2	3

0 10%未満, 1 10-19%, 2 20-29%, 3 30-39%, 4 40-49%, 5 50-59%, 6 60-69%, 7 70-79%

以上の議論から結論として次のことが導き出せる。

- (1) アメリカにおける言語上の性差別廃止運動の影響をうけて、アメリカの新聞・雑誌でhousewifeを避けてhomemakerを使う傾向が明瞭に表れている。1紙だけの調査であるが日本の*Daily Yomiuri*にも同じ傾向が表れている。
- (2) しかし、一斉にhomemakerの使用が増えるのではなく、新聞・雑誌によって増え始める時期が異なる。*Washington Post*は87年、*New York Times*は74年、*Daily Yomiuri*は97年に増加に転じる。*USA Today*は調査可能な最初の年の89年からhomemakerの使用が多い。また、homemakerの使用割合が50%を越えるのは*Washington Post*が92年、*USA Today*が89年、*Daily Yomiuri*が01年である。*Christian Science Monitor*は散発的に95年と06年に50%を越えている。アメリカの新聞でも*New York Times*はhomemaker

が50%以上になる年はない。このように各紙によってばらつきが大きい。

- (3) homemakerがhousewifeよりも優勢になっても homemakerの使用割合が70%台までである。*Washington Post*で06年、*USA Today*で89、90、92年、*Daily Yomiuri*では02、03年に出現する。したがってhousewifeはhomemakerの取って代わられて今はほとんど使われないわけではない。むしろhousewifeは今でも多く用いられている。⁶
- (4) 最近になってhomemakerの使用が減り、housewifeの使用が増えている新聞がある。逆戻り現象が発生しているのは*USA Today*と*Daily Yomiuri*である。その理由は明らかでない。アメリカ社会でhousewifeを避けようとする気持ちが薄らぎ、この2紙にも反映しているのだろうか。
- (5) housewifeを使わず、代わりにhomemakerを使った記事は確かに多くある。しかしhousewifeとhomemakerとが同じ記事の中に出てきて、同じ語を繰り返し使うのを避けるためにhomemakerとhousewifeを使っている記事も多い。homemakerはhousewifeを避けるためではなく、表現に多様性を与えるためにも使われている。
- (6) アメリカの新聞・雑誌でも*Christian Science Monitor*と*Newsweek*にはhousewifeを避けてhomemakerを使う傾向はほとんど表れていないと思われる。
- (7) 今回調査したイギリスの新聞・雑誌の*Guardian*、*Independent*、*Economist*にはhousewifeを避けてhomemakerを使う傾向は表れていないと思われる。homemakerの使用割合は調査した全期間を通して低い。50%を越えるものではなく、*Independent*が04年、06年の2年だけ30%を越えるだけで、他はそれよりも低い。また全期間をとおしてほとんど変化がない。

最後に類似の研究に言及したい。本稿ではhousewifeとhomemakerについて考察したが、他のPC表現の使用頻度が本稿の調査結果と同じように推移するとは限らない。畠山(2005)はpolicemanとそのPC表現であるpolice officerの使用頻度について論じている。アメリカの新聞・雑誌では、性差別を表す語に代わってPC表現が用いられるようになってきているという大きな流れの中にある点では同じであるが、その内容は一様ではない。例えば*New York Times*でpolice officerの使用割合は93年に83%となり、その後04年までは毎年80%以上を保っている。⁷この点では使用割合が70%台を越えることのないhomemakerの場合とは異なっている。PC表現については個別の研究も必要である。

引用辞書

- CALD2: Cambridge Advanced Learner's Dictionary*. 2nd edition. Cambridge University Press, 2005.
COD11: Concise Oxford English Dictionary. 11th edition. Oxford University Press, 2004.
LDOCE4: Longman Dictionary of Contemporary English. 4th edition. Pearson Education Limited, 2004.
Newbury House: The Newbury House Dictionary of American English. Heinle & Heinle Publishers, 1996.
OALD7: Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English. 7th edition. Oxford University Press, 2005.
『ジーニアス4』『ジーニアス英和辞典 第4版』大修館書店、2006.

引用文献

- American Psychological Association. 2001. *Publication Manual of the American Psychological Association*. Fifth edition.
- Dumond, Val. 1990. *The Elements of Nonsexist Usage - A Guide to Inclusive Spoken and Written English*. Prentice Hall Press.
- 畠山利一. 2005. 「policemanとpolice officer—使用頻度の推移—」 田中実・神崎高明共編『英語語法文法研究の新展開』英宝社、pp.41-46.
- Miller, Casey and Kate Swift.1995. *The Handbook of Non-Sexist Writing for Writers, Editors and Speakers*. Third British Edition. The Women's Press Ltd.
- Rees, Nigel. 1993. *The Politically Correct Phrasebook*. Bloomsbury.

注

- 1 本稿は第8回JACET英語辞書学ワークショップ2007「英語の辞書と語彙」（2007年3月24日：京都外国語大学）での発表「housewifeとhomemaker—英米の新聞での扱いを検討する」に加筆修正をしたものである。
- 2 LexisNexisのWebページには「LexisNexisのニュース・ビジネス情報には、世界中の主要新聞、産業専門誌、通信記事、雑誌などの豊富なニュースや多数の企業情報、法律情報などが収録されています。世界各国の主要な英字及び欧州言語の媒体を網羅。コンテンツ例：The New York Times, The Financial times, Herald, South China Morning Post, The Times (London), Japan Times, Fortune, Forbes, Newsweek… テレビ、ラジオの放送原稿：BBC, CNN, ABC, CBS, NBC, …」とある。（<http://www.lexisnexis.jp/product/lexiscomcontent.html>：2007年3月23日現在）
なお、本稿のための検索は2007年2月-6月に行われた。LexisNexisは勤務校である大阪国際大学枚方キャンパス図書館のWebページから利用した。利用できなければ本稿は成立しなかった。同図書館に感謝する。
- 3 これら新聞・雑誌の概要をLexisNexisから引用する。coverageはLexisNexisに記事が収録されている期間、frequencyは発行頻度である。
The Washington Post
COVERAGE: From January 01, 1977 through current. FREQUENCY: Daily.
The Washington Post has an acknowledged influence far beyond the metropolitan area for which it is edited.
The New York Times
COVERAGE: From June 01, 1980 through current (full text); From January 1, 1969 - May 31, 1980 (abstracts). FREQUENCY: Daily.
Printing "All the News That's Fit to Print," The New York Times bears the reputation of being the United States' unofficial newspaper of record.
USA Today
COVERAGE: From January 03, 1989 through current. FREQUENCY: Daily; Monday - Friday.
USA TODAY is the nation's most read daily newspaper with more than 6.3 million readers.
Newsweek
COVERAGE: From January 06, 1975 through current. FREQUENCY: Weekly.
Newsweek reports politics, government and world affairs.
The Christian Science Monitor
COVERAGE: From January 02, 1980 through current. FREQUENCY: Daily; Monday - Friday.
Widely viewed as one of the world's great newspapers, The Christian Science Monitor is perceptive, non-partisan and influential.

The Guardian

COVERAGE: From July 14, 1984 through current. FREQUENCY: Daily; Monday - Saturday.

The Guardian is one of Britain's oldest newspapers with a well respected national and international reputation.

The Independent

COVERAGE: From 19 September 1988 to current. FREQUENCY: Daily.

"The Independent" was launched in October 1986, and rapidly acquired a reputation for the quality and extent of its reporting, particularly in foreign affairs.

The Economist

COVERAGE: From January 04, 1975 through current; U.S. edition. FREQUENCY: Weekly.

The Economist is Britain's leading weekly news magazine with a worldwide readership.

The Daily Yomiuri

COVERAGE: From September 01, 1989 through current. FREQUENCY: Daily.

The Daily Yomiuri, published in Tokyo by the Yomiuri Shimbun, has a circulation of 60,000, the highest of all the English-language dailies published by Japanese newspapers.

- 4 "Desperate Housewives" というテレビ番組が04年にアメリカのABC系列から放送される。人気のある番組であるため新聞にも取上げられることが多い。*Washington Post*では04年に79、05年には230、06年には177の記事の中で番組名の "Desperate Housewives" が出てくる。これらは集計から除外している。*Washington Post*以外に本稿で言及する新聞・雑誌においても集計から除外する。
- 5 housewifeの代わりにhomemakerを使うときは単に入れ替えるだけでよいが、householderを使おうと思う時は、入れ替えただけでは意味が変わってしまうので使えない。文全体を書き換えるなどの工夫をしなければならない。そのためhouseholderは使いにくい。読んでみた記事の中にそのような工夫をしてhouseholderを使ったと思えるものはなかった。
- 6 *Encarta World English Dictionary* (St. Martin's Press, New York, 1999)はhousewifeにdatedとラベルを付けている。同辞書はdatedとはused at some stage between 1945 and 1990 but no longer part of the current idioms (p. xix)と説明している。今は使われないということであるが、このラベルには疑問が残る。
- 7 厳密には79%になる年が98年と04年の2回ある。